

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	①	地域福祉の意識の醸成と人材の育成
事業名	コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業		担当課名	福祉政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域の誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、市内4か所にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、高齢者、障がい者、ひとり親家庭のほか、援護を要するあらゆる者、又はその家族・親族等への個別支援や援護を要する者の福祉の向上と自立生活の支援のための基盤づくりとともに、地域の健康福祉セーフティネット構築に向けた取組を行うことにより、本市の地域福祉の推進を図る。
(事業概要等)
地域型在宅介護支援センター事業を委託している市内4か所の社会福祉法人に「いきいきネット相談支援センター」を設置し、専門的知識・資格(社会福祉士等の資格を持ち、大阪府の養成研修修了者)を有するコミュニティソーシャルワーカーを配置し、援護を必要とする者や関係者からの相談を受け、必要とされる制度へのつなぎを行うとともに、関係機関との調整を行い、必要とされるサービスの提供、さらには地域における見守り・発見・相談体制の構築に向けた関係機関との連絡・調整・つなぎなどを基礎的活動として展開する。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	23,191	23,200	23,200	23,200	
うち市負担分(千円)	4,551	1,699	2,613	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
相談件数	件	3,276	3,159	3,153	3,500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
支援を要するあらゆる者からの相談を受け、各関係機関へのつなぎを行うことで、住み慣れた地域において安心して、自立した生活ができるとともに、福祉関係団体や地域の住民との連携を図ることで、ネットワークの構築に向けた取組につながっており、地域福祉の推進に大きく寄与している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	令和4年度についても前年同様コロナ禍ということもあり、幅広い活動が難しく、積極的な活動の参加支援等も困難だった。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 支援を要するあらゆる者からの相談を受け、各関係機関へのつなぎを行うことで、住み慣れた地域において安心して、自立した生活ができるとともに、地域共生社会の実現に向けた体制整備のため、市として活動について支援する必要があり継続実施とする。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	①	地域福祉の意識の醸成と人材の育成

事業名	遺家族等援護事業	担当課名	福祉政策課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
戦没者遺家族等への援護事業を実施することにより、福祉の増進と平和意識の高揚を図る。
(事業概要等)
戦没者追悼式、忠霊塔の維持管理、戦没者遺族会への活動補助金の支給、特別弔慰金の支給に係る事務等を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	989	969	1,099	3,647	
うち市負担分(千円)	918	930	1,061	3,592	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
特別弔慰金及び特別給付金等に係る事務については、法令等により実施が義務付けられており、また、戦没者追悼式及び忠霊塔の維持管理事務については、数値による評価になじまない。					
(成果の概要)					
毎年10月に戦没者追悼式を遺族、関係者、その他来賓の参加により実施することで、戦没者への追悼の意を捧げ、平和意識の高揚を図っている。また、特別弔慰金及び特別給付金については、円滑な申請・給付に係る事務が遂行できた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	遺族会会員の高齢化が進んでおり、忠霊塔の維持管理や今後の活動について検討が必要。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 法令等により実施が定められているもの及び事業の性格上他の手法になじまない。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	②	地域福祉を支えるネットワークの整備

事業名	孤独・孤立対策推進事業	担当課名	福祉政策課
-----	-------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
コロナ禍で交流や見守りの場、相談する機会の減少により、一層顕在化・深刻化している、孤独・孤立の問題解決を目的とする。
(事業概要等)
孤独・孤立に悩む人や高齢者、障がい者等をだれひとり取り残さない社会をめざし、民間の活力を活用した新たな居場所づくりを進めるとともに、様々な分野で個々に実施している施策を整理した冊子やポータルサイトを活用し、施策の見える化を進め、孤独・孤立に悩む人が社会とのつながりを回復できることができ、個々の課題に応じたサービスにつながりやすくすることで、誰もが社会の一員として安心して暮らせるまちづくりをめざす。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			5,378	3,507	
うち市負担分(千円)			0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
みんなの居場所づくり事業補助金交付事業者数				3	6
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	令和4年度新規事業
------------	-----------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	居場所づくり実施事業者数について、4か所で実施したいと募集を行ったが、実際には3か所の実施に留まった。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 3か所の居場所においては、各実施事業者がそれぞれ特色のある居場所づくりを展開して多くの参加者が訪れた。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	①	地域福祉の意識の醸成と人材の育成

事業名	自殺対策計画推進事業	担当課名	福祉政策課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
平成30年度に計画を策定。誰も自殺に追い込まれることなく、健康で生きがいをもって暮らすことができる地域づくりをめざす。
(事業概要等)
誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現や生きることへの包括的支援体制の構築を図るため、平成30年度に自殺対策計画を策定。この計画に基づき、自殺死亡率を減少するよう取り組みを行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	216	1,220	272	2,120	
うち市負担分(千円)	49	1,172	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
自殺対策啓発ファイルの配布	枚	1,000	1,000	1,000	0
(指標を設定できない理由)					
令和5年度から、啓発品の配布による啓発ではなく、ゲートキーパーの養成や相談支援の充実を図るための事業を実施するため。					
(成果の概要)					
自身で心の健康をセルフチェックできるシートと相談機関一覧を掲載したクリアアイルを作成し、年間を通して市民が手に取りやすい市役所ロビーや市民フォーラム等で配布することで、多くの方に啓発品を配布することができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	今までは行事に参加した方に配布することが多かったが、年間を通して市役所ロビーに設置したことで、より多くの市民に配布することができた。 また、若年層支援として小中学校の教職員向けにゲートキーパー養成研修を実施、泉大津高校2年生を対象にSOSの出し方に関する教育を実施した。3月の自殺対策強化月間にこころのセルフケア等を発信するラジオ放送を実施した。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	コロナ禍による影響で、特に若者や女性の自殺者が増加し、若者や女性に焦点を当てた取組が必要である。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) コロナ禍による影響で、特に若者や女性の自殺者が増加し、若者や女性に焦点を当てた取組を実施する予定。
	改革・改善策等の具体的内容	市内中学生対象にSOSの出し方に関する教育の実施、LINE相談窓口の開設、ラジオによる啓発放送を実施予定。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	①	地域福祉の意識の醸成と人材の育成

事業名	社会福祉協議会支援事業	担当課名	福祉政策課
-----	-------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
社会福祉協議会が実施する社会福祉を目的とする事業、社会福祉に関する活動への地域住民の参加のための援助事業、社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成事業、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るための事業に対して補助を行い、地域福祉の増進を図る。
(事業概要等)
地域福祉活動推進の要でもある社会福祉協議会に対し補助金による支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	54,987	49,766	38,775	53,091	
うち市負担分(千円)	54,987	49,766	38,775	53,091	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
社会福祉協議会の運営及び各種事業等に係る人件費が主の補助金であることから、具体的個別の指標の設定及び数値化に適さない。					
(成果の概要)					
社会福祉協議会の健全な運営及び実施事業の向上が図れている。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	社会福祉協議会の運営の効率化・適正化のため、令和4年4月から市職員2名を派遣した。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	主に人件費補助であるため、評価が困難である。
-----------------	------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市民ニーズに対応するため、専門資格を要する事業展開が求められており、計画的な人材確保とともに、社会福祉の向上を図るために、各種事業を精査しつつ、市民ニーズを把握し、時代に即応した事業展開が図られるよう市の支援を継続実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	①	地域福祉の意識の醸成と人材の育成

事業名	地域ボランティア活動事業	担当課名	福祉政策課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域福祉の担い手である住民のボランティア活動を育成・支援するとともに、ボランティア派遣のコーディネートを行う。

(事業概要等)
ボランティアセンターを設置する社会福祉協議会へ補助金による支援を行う。
ボランティアセンターの事業内容は、ボランティアに関する相談やニーズ調整を行い、ボランティアの人材育成・確保に向け、ボランティア養成講座や小学生を対象としたボランティア体験学習、現在活動中のボランティアに対する研修会等を実施する。さらに、市民にボランティア活動について啓発を行うため、ボランティア情報誌を発行する。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,451	3,913	4,384	6,760	
うち市負担分(千円)	7,451	3,913	4,384	6,760	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
ボランティア研修会参加者	人	21	25	31	40
ボランティア派遣	件数	17	11	27	-
災害ボランティアセンターからの派遣	件数			0	-

(指標を設定できない理由)
ニーズに応じたボランティアの派遣を行っているため。

(成果の概要)
市民活動やボランティア活動に関心が向けられる中、ボランティアを育成し、ニーズに応じたボランティアの派遣を行っている。平成30年度にボランティアの受付・派遣等を行う災害ボランティアセンターを立ち上げ、随時フォローアップ研修を実施している。

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	ますます関心や需要が見込まれ、ボランティア活動の啓発や人材育成等を行う必要がある。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後、ますます関心や需要が見込まれ、ボランティア活動の啓発や人材育成等を行う必要性が高まると考えられることから、ボランティアを活用した地域福祉推進の担い手である社会福祉協議会へ継続して補助金による支援を実施する。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	①	地域福祉の意識の醸成と人材の育成

事業名	地域福祉計画推進事業	担当課名	福祉政策課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	誰もが住み慣れた地域社会で安心して暮らすことができるよう、地域に関するすべてのものが主役となって地域づくりを推進する。
(事業概要等)	住み慣れた地域で行政と住民が一体となって支え合う総合的な地域福祉の取り組みを推進する計画を策定する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	93	74	2,538	2,991	
うち市負担分(千円)	93	74	2,538	2,991	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
推進委員会・策定委員会開催回数	回	1	1	1	4
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
第4次地域福祉計画の推進委員会にて、地域共生社会の実現に向けての意識の共有を行い、第5次地域福祉計画の策定に向けた方向性の検討、市民・団体アンケートの報告を実施した。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	次期計画策定に向けて委員を追加した。
------------	--------------------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 第4次の地域福祉計画に基づき、引き続き地域福祉の推進を図る。令和4年度においては、引続き計画の進捗管理を行うため委員会を開催した。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	②	地域福祉を支えるネットワークの整備

事業名	市内浴場業者助成事業	担当課名	福祉政策課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
高齢者や障がい者が心身のリフレッシュと健康増進とともに、交流を図ることで健康福祉の向上を図る総合福祉センター浴場での無料入浴サービス事業を実施するにあたり、浴場組合に対し助成金を交付し、公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律に基づき、公衆浴場の経営の安定を図るとともに、住民の利用機会の確保に努める。
(事業概要等)
概ね60歳以上の高齢者や障がい者を対象に週4回総合福祉センターの浴場で無料入浴サービス事業を実施するにあたり、浴場組合に対し前年度の福祉センター浴場利用者数に応じ助成金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,183	1,183	1,183	1,332	
うち市負担分(千円)	1,183	1,183	1,183	1,332	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
福祉センター浴場利用者	人	1,985	2,856	3,387	3,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
高齢者等が福祉センターでの無料入浴サービスの実施により、心身の健康保持や地域住民との交流、社会参加の機会が確保されるとともに、事業への協力者である市内公衆浴場への影響等を勘案し助成を行うことで、一定の公衆浴場の経営安定等に寄与している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	数値化して評価することが困難である。
-----------------	--------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 実施事業の性格上、他の手法としては考えにくい。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	②	地域福祉を支えるネットワークの整備

事業名	小地域ネットワーク活動事業	担当課名	福祉政策課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
日常生活を行う上で援護が必要な地域の高齢者、障がい(児)者及び子育て中の親子等に対し、市内小学校区の小地域において近隣住民によるネットワークを構築し、支援・連携により日常的サービスや在宅福祉サービスの提供など、援護が必要な人が在宅で安心して暮らせる地域社会の実現をめざす。
(事業概要等)
地域の高齢者、障がい(児)者及び子育て中の親子等の援護を必要とする人が孤立することなく生活できるよう、地区福祉委員会が中心となって近隣住民等の参加協力を得ながら実施する個別援助活動やグループ援助活動及び社会福祉協議会が行うネットワーク推進事業として、ふれあい会食会、いきいきサロン、子育て支援、世代間交流等の活動及び地区福祉委員会に対する指導並びにこれらの活動を促進させるコミュニティワーカー活動に対する補助金を社会福祉協議会へ交付する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,296	4,978	4,978	4,978	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
地区福祉委員会数	地区	9	9	9	9
個別援助(見守り友愛訪問)活動	回	11,751	10,730	11,211	12,000
グループ援助活動(いきいきサロン、世代間交流等)のべ参加人数	人	1,018	1,814	3,313	3,400
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
小地域ネットワーク活動により、地域の高齢者、障がい(児)者及び子育て中の親子等の援護を必要とする人が、孤立することなく地域との関わりをもちながら安心して生活できる効果を発揮し、地域住民同士のつながりの構築に寄与している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	地区により活動に差があり、社会福祉協議会を通して支援していく必要がある。
-----------------	--------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 継続することで、地域の高齢者、障がい(児)者及び子育て中の親子等の援護を必要とする人の市民福祉の向上が図られるとともに、地域住民の参加と協力による地域社会づくりに多大な効果があり、中心となる社会福祉協議会への補助金による支援を現行どおり実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	②	地域福祉を支えるネットワークの整備

事業名	総合福祉センター管理運営事業	担当課名	福祉政策課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内に在住の高齢者、障がい者の社会参加を促進し、生きがいと健康づくりに資するとともに、各種福祉団体の活動の場を提供し、市民福祉の向上を図る。
(事業概要等)
社会福祉協議会を指定管理者として施設の管理及び事業計画に基づき高齢者大学、各種講座、各種相談業務等を実施する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	22,989	27,600	29,869	34,238	
うち市負担分(千円)	22,989	27,600	29,869	34,228	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
各種講座等参加者数	人	402	1,840	3,397	3,500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市の高齢者、障がい者の生きがいづくり及び各種福祉団体の活動の拠点施設として、多くの利用に供され、地域福祉活動の推進に寄与する機能を発揮している。また平成18年度より指定管理者制度を導入し、安定した管理運営が図られているとともに、サービス向上に向け、事業実施時のアンケート調査等により、要望等への対応について、改善に努めている。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	施設の老朽化により、設備の耐用年数も経過し、修繕の必要な箇所が増えてきている。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 令和6年度には大規模改修を予定している。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	②	地域福祉を支えるネットワークの整備

事業名	団体等育成支援事業(福祉政策課)	担当課名	福祉政策課
-----	------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域福祉活動の担い手となる人材の発掘・育成するとともに、地域福祉の増進をめざし地域福祉活動を行う社会福祉団体に対し支援を行い、地域福祉の向上を図る。
(事業概要等)
地域福祉の増進をめざして、各種社会福祉団体が行う活動に対し補助金による支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,730	3,580	3,580	3,580	
うち市負担分(千円)	3,561	3,313	3,312	3,411	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
補助金交付団体	団体	8	7	7	7
会員数	人	634	610	610	620
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
各種社会福祉団体の活動方針・目的の実現に向けた活動への助成・支援により、団体活動がより活発化し、さらなる地域福祉の増進につながっている。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	それぞれの団体の会員数が年々減少傾向にある。
-----------------	------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 社会福祉事業を実施する各種団体の中でも、公共性が高く、継続的な活動を行うことにより成果が期待できるものであることから、市として活動について支援する必要があり継続実施とする。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	②	地域福祉を支えるネットワークの整備

事業名	福祉基金事業	担当課名	福祉政策課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
福祉基金の運用から生じる収益を活用し、社会福祉施設の整備その他社会福祉事業の実施により地域福祉の増進を図る。
(事業概要等)
社会福祉協議会が実施する概ね65歳以上の高齢者に対する老人健康マッサージ事業、介護保険における要介護4及び5で常時寝たきりの人や重度の身体障がい者で常時臥床の状態にある人に対する布団乾燥サービス事業、70歳以上のひとり暮らし高齢者への友愛訪問事業、障がい者(児)の地車福祉曳行事業等の事業に対し補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	674	680	680	680	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
老人健康マッサージ利用者	人	-	-	0	-
ひとり暮らし高齢者友愛訪問戸数	戸	5,916	5,855	5,641	-
(指標を設定できない理由)					
事業の性質上、実績値しか記載できない。令和4年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止。					
(成果の概要)					
老人健康マッサージについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 高齢化が進展する中で、高齢者の健康増進と地域ぐるみでの見守り体制を確立し、福祉基金を有効に活用するため継続して実施していく。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	②	地域福祉を支えるネットワークの整備

事業名	老人集会所維持管理事業	担当課名	福祉政策課
-----	-------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
高齢社会を豊かで活力のあるものにするため、老人クラブ活動を促進するとともに、同じ趣味や興味をもつ高齢者が集まり交流を行うことで、仲間づくりや生きがいづくりの活動の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。
(事業概要等)
市内13か所の老人集会所(長寿園)の使用に係る運営管理及び維持管理業務を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	15,244	14,790	14,346	15,575	
うち市負担分(千円)	13,437	14,138	13,924	15,185	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
延べ利用者数(総数)	人	13,566	13,943	34,718	35,000
利用者(高齢者)	人	12,259	12,629	30,881	31,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
老人クラブ活動を促進するとともに、同じ趣味や興味をもつ高齢者等が交流し自主活動を行うことで、仲間づくりや生きがいづくりの活動の場として高齢者福祉の向上に寄与している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	施設の老朽化。
-----------------	---------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 毎年、限られた財源の中で各施設の修繕に努めているが、全体的に老朽化が進んでいるため、泉大津市公共施設適正配置計画に示された各施設の今後の方向性の実現をめざす。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	③	福祉サービスを利用しやすい体制の整備

事業名	ふれあいバス運行事業	担当課名	福祉政策課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	高齢者や身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、妊産婦、乳児連れの人等の社会参加の促進を図る。
(事業概要等)	60歳以上の高齢者、身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳保持者、妊産婦、乳児連れの人及びその介添え者を対象に社会参加促進のため、総合福祉センターを起点として、市内の福祉施設等を循環する乗合バスを南回り・北回り・中回りそれぞれ1日5便ずつ運行している。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	18,319	20,887	19,241	17,996	
うち市負担分(千円)	18,319	20,887	19,241	17,996	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
年間利用者数	人	19,024	20,538	23,686	30,000
一日当たりの平均利用者数	人	78	77	92	125
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
利用対象者である高齢者や身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、妊産婦、乳児連れの人等の市内公共施設等への移動手段として、一定の効果がある。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	利用者のニーズは多種多様であるが、乗客の安全確保を第一に、随時運行ルートやタイムスケジュールの見直しなどを検討する。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 専門の民間事業者に委託を開始し、安全運行を実施できている。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	③	福祉サービスを利用しやすい体制の整備

事業名	生活困窮者自立支援事業	担当課名	福祉政策課
-----	-------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対して自立促進を図る。

(事業概要等)

生活保護にいたる前の段階の自立支援施策の強化を図るため、生活困窮者に対して包括的な支援を行なうものであり、「自立相談支援事業」と「住居確保給付金」の支給が必須事業とされている。その他、地域の実情に応じて必要な支援を提供できるように、任意事業として「就労準備支援事業」や「一時生活支援事業」、子どもに対する「学習支援事業」、「家計改善支援事業」がある。本市においては、上記必須事業の他、一般就労が困難な者に対して日常生活の自立など、就労自立のための訓練を行なう「就労準備支援事業」、住宅喪失者に対する緊急一時的な宿泊場所の提供を行なう「一時生活支援事業」及び、生活困窮世帯の子どもに対する「学習支援事業」、家計収支の改善や家計管理能力を高めることを目的とした「家計改善支援事業」を実施し、困窮者の自立を図る。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	40,866	34,352	45,092	34,005	
うち市負担分(千円)	6,127	2,648	7,400	9,370	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
市民生活応援窓口相談受付件数(延)	件	3,503	3,297	3,205	3,000
市民生活応援窓口新規相談件数	件	806	614	282	200
プラン作成件数	件	51	66	53	60
就労支援対象者数	件	29	42	20	25
就労者数	件	2	9	11	15

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

コロナ特例給付金等で窓口を利用することが義務付けられ、窓口職員の負担もあったが、本来業務である就労支援やアウトリーチもしっかりと行えた。

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	幅広い相談者の特性を理解しながら、支援にあたるように様々な研修等で相談員の質の確保に努めた。
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 相談員の質を担保するため、引き続き研修等の参加を促す。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	②地域福祉	③	福祉サービスを利用しやすい体制の整備

事業名	日常生活自立支援事業	担当課名	福祉政策課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
知的障がい、認知症、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用する際の援助や日常的な金銭管理の援助などを行い、地域で自立した生活を送ることができるよう支援する。
(事業概要等)
社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業に対し補助金による支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,032	16,069	11,732	14,905	
うち市負担分(千円)	11,032	16,069	11,732	14,905	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
相談件数	件	308	294	89	300
金銭管理契約者件数(年度末時点)	件	75	73	85	80
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
日常生活を営む上で必要となる事項について、自己判断のみでは困難である知的障がい者、認知症高齢者、精神障がい者などが契約によりサービスを利用することにより、住み慣れた地域で生活を継続することが可能となる。また、事業の周知・啓発を行なっていることにより、市民からの問合せや相談が増えている。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	支援を必要とする方が増加傾向にあり、引続き支援員の確保が必要である。
-----------------	------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市民のニーズに対応するため、支援を必要とする方が確実に支援を受けることができるよう、市の継続支援が必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	④	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加口

事業名	シルバー人材センター支援事業	担当課名	福祉政策課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
高齢者人口が増加するなか、高齢者の就業機会確保や社会参加を促進することが重要であり、公益社団法人泉大津市シルバー人材センターの役割も大きく、その運営を支援することにより活力ある地域社会づくりに寄与する。
(事業概要等)
高齢者の就業機会の増大と社会参加を促進するため、公益社団法人泉大津市シルバー人材センターの運営に対し補助金による支援を行う。その他、全国シルバー人材センター協会及び大阪府シルバー人材センター協会への負担金を支出する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	16,862	16,862	16,862	17,862	
うち市負担分(千円)	16,862	16,862	16,862	17,862	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
登録会員数	人	898	918	877	925
就業延べ人数	人	82,032	82,620	80,497	90,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
臨時的、短期的又は軽易な作業を会員に提供することができ、高齢者の就業機会の増大、社会参加の促進、生きがいづくりにつながっている。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	公益社団法人の運営補助であり、数値化して評価することが困難である。
-----------------	-----------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 高齢化が進展するとともに、団塊世代の退職により会員数の増加も見込まれる一方、定年の引き上げや、再雇用制度、さらには厳しい社会情勢等を考慮する必要があるが、機能充実に向けた努力を促しながら、60歳以上の高齢者の就労支援の見地から、市として補助を実施する必要性がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	④	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	在宅介護支援センター運営事業	担当課名	福祉政策課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
在宅の要介護高齢者等またその介護者等に対し、在宅介護に関する総合的な相談に応じ、在宅の要介護高齢者等及びその介護者の介護等に関するニーズに対応した各種の保健、福祉サービスが総合的に受けられるように関係機関等との連絡調整等を行い、さらには、地域におけるセーフティネット構築を図り、もって要介護高齢者等及びその家族の福祉の向上を図る。
(事業概要等)
市内に所在する社会福祉法人に委託し、次の事業を実施する。 ・在宅介護に関する総合的な相談 ・要援護高齢者等の心身の状況及びその家族等の状況等の実態把握 ・要援護高齢者等又は家族等の保健福祉サービスの利用申請手続きの受付、代行、調整等

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,817	1,817	1,817	1,817	
うち市負担分(千円)	1,817	1,817	1,817	1,817	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
高齢者に係る相談件数	件	1,935	1,444	964	2,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
いきいき相談支援センター・コミュニティソーシャルワーカー業務との連携・相互補完とともに、併設施設との連携により、在宅介護に関する総合的な相談について、緊急を要する場合においても、24時間対応が可能な体制を有していることから、要援護者等への保健福祉の向上に寄与している。また、地域のセーフティネット構築においても重要な役割を有している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) いきいき相談支援センター・コミュニティソーシャルワーカーとともに、地域住民等との連携を図りつつ、地域ぐるみでの支援体制を構築しており、要援護高齢者等に対して、地域のセーフティネットを構築する上でも、現状継続とする。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	④	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	心の生きがい促進事業	担当課名	福祉政策課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
高齢者の心に感動を与え、生きがいを感じられる機会を提供し、心身の健康の維持増進を図ることを目的とする。
(事業概要等)
コンサートと歩行セミナー&歩行測定会を実施。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	8,929	9,285	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
コンサート参加者数	人			450	900
セミナー参加者数	人			71	80
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	前回のコンサート実施は平成30年度であり、今回はコロナ禍での開催となり感染予防対策等を徹底し実施した。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 参加者の満足度は高く、今後も引き続き実施する。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	⑤	地域活動の仕組みづくり

事業名	生きがいと健康づくり推進事業	担当課名	福祉政策課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
高齢者が健康を保持しながら生きがいを持って、地域社会の主要な構成員として役割を果たし、充実した生活を送ることができるよう高齢者に適したスポーツやレクリエーションを支援し、高齢者福祉の増進を図る。
(事業概要等)
泉大津市ゲートボール連盟、泉大津市グラウンドゴルフ連盟、泉大津市高齢者軟式野球連盟の活動に対し補助金による支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	190	190	190	390	
うち市負担分(千円)	190	190	190	390	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
会員数	人	143	128	114	150
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ゲートボール、グラウンドゴルフ及び軟式野球等の普及・振興とともに、各種大会への参加において実績を残している。こうしたスポーツを通じた活発な活動を行うことで、健康増進と仲間づくり、生きがいづくり等日常生活の充実につながっていることから、活動を支援することで、高齢者福祉の向上が図られている。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	会員数が減少傾向にあるため、会員数増加に向けた啓発が必要。
-----------------	-------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 健康増進と仲間づくりや生きがいづくりといった日常生活の充実につながっており、市として活動について支援する必要があり継続実施とする。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	⑤	地域活動の仕組みづくり

事業名	福祉健康農園維持管理事業	担当課名	福祉政策課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
高齢者等が土に親しみを持つことにより心身の健康保持及び福祉の増進を図る。
(事業概要等)
用地所有者から市が借り受け、市内3か所に農園を設置し、1区画約10㎡(144区画)の農園を65歳以上の高齢者及び障がい者に1年3,600円で貸出を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	636	671	733	804	
うち市負担分(千円)	157	225	253	318	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
農園数	箇所	3	3	3	3
農園利用者数	人	119	121	116	127
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
使用可能区画に対し、約82%の利用率となっている。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	森農園の農園として活用していない敷地を整地し、2区画増やした。
------------	---------------------------------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	農園利用のルールが遵守できていないほか、農園や利用者に関する指摘等も寄せられている。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) さらなる利用率の向上、農園利用者のルール遵守の徹底、施設管理方法等について検討する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	③高齢者福祉	⑥	地域活動の仕組みづくり

事業名	老人クラブ活動支援事業	担当課名	福祉政策課
-----	-------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
高齢者の生きがいと健康づくりに資する多様な活動・事業を推進し、高齢者の社会参加、自立支援及び健全で豊かな生活の実現をめざす老人クラブの活動に対し補助を行い、活動の育成・支援とともに明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を図る。
(事業概要等)
単位老人クラブ及び老人クラブ連合会の運営に対し補助金による支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,238	4,105	3,929	4,170	
うち市負担分(千円)	1,844	2,227	2,070	2,137	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
老人クラブ会員数	人	5,204	4,918	4,592	4,700
老人クラブ加入率	%	22.7	21.3	19.7	21.5
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
高齢化が進展する中で、会員相互の親睦と社会奉仕活動等により地域社会との交流を図るとともに、教養講座や健康増進事業の実施により、高齢者の生きがいと健康づくりを図る老人クラブ活動への助成により自主活動の一層の推進に寄与している。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	加入率が減少傾向にあるため、加入者数増加に向けた支援が必要。
-----------------	--------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 加入者数の増加に向け活動の取組や実態等の啓発を図りながら、現状の継続実施を行う。
改革・改善策等の具体的内容		